

## 平成29年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年6月2日

上場取引所 東

上場会社名 ピーブル株式会社

コード番号 7865 URL <http://people-kk.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役

(氏名) 桐渕 千鶴子

問合せ先責任者 (役職名) IR担当

(氏名) 飛田 留美子

TEL 03-3862-2768

四半期報告書提出予定日 平成28年6月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成29年1月期第1四半期の業績(平成28年1月21日～平成28年4月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年1月期第1四半期	1,235	33.1	184	63.6	175	54.2	116	62.1
28年1月期第1四半期	928	26.5	113	80.7	113	90.6	72	94.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年1月期第1四半期	26.53	—
28年1月期第1四半期	16.36	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年1月期第1四半期	2,432	1,801	74.0	411.65
28年1月期	2,728	2,106	77.2	481.47

(参考)自己資本 29年1月期第1四半期 1,801百万円 28年1月期 2,106百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年1月期	—	0.00	—	90.00	90.00
29年1月期	—	—	—	—	—
29年1月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年1月期の配当予想につきまして、第2四半期末配当実施の有無につきましては7月中旬に、期末配当予想につきましては通期業績見通しと連動しますため、第3四半期終了し年末商戦を見極めた後に発表させていただきます。

### 3. 平成29年1月期 第2四半期の業績予想(平成28年1月21日～平成28年7月20日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,276	14.8	259	7.0	257	4.9	169	8.6	38.73

当社の通期の業績は、年末商戦期間(10～12月)の業績に大きく左右されます。このような玩具市場の特性に鑑み、本来第2四半期累計期間とともに通期の業績予想を掲げるべきところ、直近で見通せる第2四半期累計期間の予想のみを掲げさせていただきます。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年1月期1Q	4,437,500 株	28年1月期	4,437,500 株
29年1月期1Q	63,134 株	28年1月期	63,088 株
29年1月期1Q	4,374,400 株	28年1月期1Q	4,374,475 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	7
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
【第1四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
【第1四半期累計期間】	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) カテゴリー別販売の状況	8
①第1四半期累計期間売上高	8
②新発売商品及び主なりニューアル商品	8

【添付資料】

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

第1四半期累計期間

(平成28年1月21日～平成28年4月20日)

	金額	対前年同期間比
売上高	1,235百万円	33.1% 増
営業利益	184百万円	63.6% 増
経常利益	175百万円	54.2% 増
第1四半期純利益	116百万円	62.1% 増

当40期第1四半期の総売上高は12億35百万円、前年同期間対比では33.1%増となりました。海外販売では想定以上に米国向け出荷が増量し、国内販売では遊具・自転車部門において前年に無い売上増に繋がっています。

国内販売の玩具部門では、知育・乳児カテゴリで“ノンキャラ良品シリーズ”の計25種を一斉リニューアルし、3、4月度に渡り値上げを実施しております。また、既存品からギフト需要にコンセプトを改めた「本物のオルゴールの枕元メリー」や「新生児から遊べるベビージム」は“うちの赤ちゃん世界一シリーズ”として付加価値を高めてリニューアルし、「あんよ強い子ウォーカー」も2年ぶりにカラーチェンジしリフレッシュする等、いずれも値上げ対策を次々と実行していきました。こうした対策により同カテゴリは想定範囲で流通の市場在庫調整の影響を受けている一方で、幼児玩具カテゴリの“お人形シリーズ”では、当年20周年のアニバーサリーキャンペーンを期初2月度から開始し、ゴールデンウィーク前の4月度まで流通期待が煽られて前年実績を押し上げており、玩具部門全体の売上を支えています。

また、同玩具部門3月度では、就学前の3歳以上に購入時期が早まっている地球儀に着目し、「くにキャラ地球儀」(税別17,500円)を発売しています。幼稚園児が夢中になる工夫として全30か国のキャラクターと歌を当社オリジナルで創り、その国のキャラクターとお子様が付属の電話で話をしながらインターラクティブに遊べるコンテンツを豊富に加えました。楽しく遊んでいる内にいつの間にか本格的知識が身に付き、小学生も楽しんで学習に役立つデジタル図鑑付きです。

当四半期の国内販売で前年に無い著しい売上増となった遊具・自転車部門では、ロングセラーの定番品「いきなり自転車」シリーズがカラー、デザインを一新し、近年の購入者からの呼称に合わせ「PEOPLE自転車」と改名してブランド強化キャンペーンを開始しました。高額商品でも違いのある自転車に注目する傾向は本年度も強く、GW商戦に向け若干流通の買い盛り需要を含みながらセルイン数が増え、当四半期の売上を牽引しました。また、前年同期間ではごく小規模店に限られ販売されていた補助輪パスして「ラクショーライダー」自転車(全5種)は、当期に入り消費者の指名買いがネット等を通じて広がり、実店舗への拡販がじわじわと広がり売上増につながっています。

当四半期の国内販売では、育児用品市場向けに新規事業開発商品「ぐずりに効くよだれカバー」3種を発売しています。お出かけするときの必需品“だっこひも”に取り付けるよだれカバーが普及している事に着目し、赤ちゃんのゴキゲン時間を長くする為の可愛い玩具をカバーに取り付けたところ、発売直後から回転し、育児流通の大手販売店での新商材として注目され始めています。

海外販売は、主に前年度に続き米国向け「Magna - Tiles」の販売良好によることで、前年同期間では小規模であった米国大手量販店の受注が当四半期では本格的に拡販につながっています。一方、為替レートでは前年対比でUSドル安に推移していますが、出荷増によって売上高は前年同期間比で増加しています。

国内外の売上増にともない、営業利益は1億84百万円の前年同期間比で63.6%増となり、経常利益は1億75百万円、前年同期間比54.2%増、第1四半期純利益は1億16百万円、前年同期間比62.1%増となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末から2億96百万円減少の24億32百万円となりました。

流動資産は、新商品等の入荷に伴い商品が増加した一方、配当金及び法人税等の支払により現金及び預金が前事業年度末から大きく減少したこと等で22億23百万円となりました。固定資産は金型等の取得を含み、ほぼ前事業年度末と同額の2億10百万円となりました。

負債では流動負債で主に未払法人税等が減少した一方、「その他」に含まれる配当金源泉税預り金の計上等で、負債合計で前事業年度末から10百万円増の6億32百万円となりました。

純資産合計は四半期純利益の計上及び利益剰余金の配当により、前事業年度末より3億5百万円減少の18億1百万円となり、結果、自己資本比率は74.0%となりました。

なお、当社では原価安定の目的での為替予約をしており、当四半期では、予想した為替レンジより急激な円高ドル安に進んだ事で、保有した予約残高が四半期末日をもって一時的に時価評価され、純資産の部の「繰延ヘッジ損益」で損失(△)計上されています。しかし予約したUSドルは今後仕入決済に充当し、想定した原価維持に計画通り使用してまいりますので、この評価損失計上は予約消化とともに縮小していきます。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は、期首より3億73百万円減少し(前第1四半期累計期間比較では46百万円の減少)11億20百万円となりました。主な要因は次の通りです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上した他、主に法人税等の支払等により71百万円の支出(前年同期間は1億20百万円の支出)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、金型等固定資産の取得および社内使用の無形固定資産(ソフトウェア)取得による支出により9百万円の支出(前年同期間は12百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により3億1百万円の支出(前年同期間は1億48百万円の支出)となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

ゴールデンウィーク前に流通の仕入れ意欲が積極的に働いた当第1四半期に対し、次期第2四半期(平成28年4月21日～平成28年7月20日)の自転車部門では市場在庫消化が中心となり、受注縮小が予想されます。また、玩具部門では前年同期間に加熱していた旅行客の爆買い等も落ち着きを見せている事や、第1四半期に実施した値上げの影響等を勘案し、国内販売では前年実績を下回る事も想定範囲となります。海外販売は依然前年を上回る積極的出荷を予想していますが、USドル安は当面続くと見ており、国内外合わせ次期第2四半期売上高は前年並みを予想し、当上半期(平成28年1月21日～平成28年7月20日)累計売上は14～15%程の増収幅に落ち着くとみています。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (3) 追加情報

#### (法人税率の変更等による影響)

平成28年3月31日に、「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が公布され、平成28年4月1日以後開始する事業年度より法人税率等が変更されることとなりました。これに伴い、平成29年1月21日から平成31年1月20日までに解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が32.26%から30.86%に、また、平成31年1月21日以降に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については、繰延税金資産及び繰延税金負債を計算する法定実効税率が30.62%に変更されております。

この税率変更による財務諸表に与える影響は軽微です。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年1月20日)	当第1四半期会計期間 (平成28年4月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,494,083	1,120,577
受取手形及び売掛金	560,112	603,695
商品	408,904	448,041
原材料	1,403	1,277
その他	51,467	50,352
貸倒引当金	△1,064	△1,147
流動資産合計	2,514,904	2,222,795
固定資産		
有形固定資産	93,578	89,646
無形固定資産	1,970	2,248
投資その他の資産		
投資有価証券	28	28
その他	117,725	117,631
投資その他の資産合計	117,753	117,659
固定資産合計	213,301	209,553
資産合計	2,728,204	2,432,348
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	232,509	236,683
未払法人税等	163,321	47,081
為替予約	51,970	93,759
その他	119,812	199,911
流動負債合計	567,612	577,434
固定負債		
長期未払金	50,000	50,000
繰延税金負債	4,429	4,204
固定負債合計	54,429	54,204
負債合計	622,041	631,638
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	238,800	238,800
資本剰余金	162,705	162,705
利益剰余金	1,753,870	1,476,220
自己株式	△33,860	△33,977
株主資本合計	2,121,515	1,843,748
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	19,437	19,724
繰延ヘッジ損益	△34,789	△62,762
評価・換算差額等合計	△15,352	△43,038
純資産合計	2,106,163	1,800,710
負債純資産合計	2,728,204	2,432,348

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年4月20日)
売上高	928,147	1,234,920
売上原価	578,259	789,424
売上総利益	349,887	445,495
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	44,082	36,285
販売促進費	14,172	27,394
運賃	37,592	43,184
役員報酬	15,661	15,661
給料及び手当	27,269	32,950
支払手数料	14,304	19,339
研究開発費	42,871	38,395
その他	41,247	47,913
販売費及び一般管理費合計	237,200	261,120
営業利益	112,688	184,375
営業外収益		
保険配当金	246	255
受取保険金	1,092	-
固定資産売却益	137	89
その他	17	6
営業外収益合計	1,492	350
営業外費用		
為替差損	796	9,844
営業外費用合計	796	9,844
経常利益	113,383	174,881
税引前四半期純利益	113,383	174,881
法人税、住民税及び事業税	32,916	45,031
法人税等調整額	8,894	13,803
法人税等合計	41,810	58,834
四半期純利益	71,573	116,047



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年4月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	113,383	174,881
減価償却費	10,566	13,913
売上債権の増減額 (△は増加)	△140,709	△43,583
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△49,060	△39,011
仕入債務の増減額 (△は減少)	66,904	4,174
その他	2,946	△20,892
小計	4,031	89,481
利息及び配当金の受取額	4	6
法人税等の支払額	△123,864	△160,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119,829	△70,768
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△11,675	△9,062
無形固定資産の取得による支出	-	△400
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,675	△9,462
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	-	△117
配当金の支払額	△148,021	△300,665
その他	△221	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,243	△300,775
現金及び現金同等物に係る換算差額	233	7,507
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△279,514	△373,498
現金及び現金同等物の期首残高	1,446,350	1,493,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,166,836	1,120,399

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、玩具及び自転車等乗り物類の企画・販売を事業とする単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

平成28年5月9日付で、米国に当社100%出資の子会社を自社ブランドによる乳幼児向け玩具の米国市場開拓を目的に設立することを取締役会決議し、同日ご報告しております(詳細は、東京証券取引所ホームページ適時開示情報<https://www.release.tdnet.info/inbs/140120160509478236.pdf> をご参照ください)。本件による当社の平成29年1月期の業績に与える影響は、軽微であると見込んでおりますが、今後、業績に重大な影響が生じる場合には、速やかにお知らせいたします。

5. 補足情報

(1) カテゴリー別販売の状況

当第1四半期累計期間の販売の状況について、当社は単一セグメントとしているため、カテゴリー別に示すと以下の通りです。

① 第1四半期累計期間売上高

(単位 千円)

カテゴリー名	前第1四半期累計期間 (自平成27年1月21日 至平成27年4月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年1月21日 至平成28年4月20日)	前年同期比 (%)
乳児・知育玩具	300,516	278,613	92.7
女兒玩具	176,965	194,462	109.9
遊具・乗り物	211,102	330,374	156.5
その他・海外販売	239,564	431,471	180.1
合計	928,147	1,234,920	133.1

② 新発売商品及び主なリニューアル商品

カテゴリー名	商品名	標準小売価格 (税別)
乳児・知育玩具	ノンキャラベビーシリーズ リニューアル「本物のレジ袋音収録 泣く子もケロリ!魔法のラトル」他、計28種	¥500~¥1,780
	新商品「熱中めんぼうブラザーズ」他、計4種	¥450~¥780
	うちの赤ちゃん世界一シリーズ 本物オルゴールの枕元メリー (リニューアル)	¥2,000
	新生児から遊べるベビージム (リニューアル)	¥2,500
	「あんよつよいこウォーカー ノルディックカラー」 (リニューアル)	¥5,400
	「くにキャラ地球儀」	¥17,500
女兒玩具	人形「20周年限定プレミアム おしゃべりぼぼちゃん」	¥5,380
	着せ替え「うさちゃんケーキのワンピ」	¥1,580
	「うさちゃんの3WAYおしゃべりベッド」	¥2,980
	「カゴ&シートベルトつき お買い物ベビーカーフレンチローズピンク」	¥4,580
	「おしゃべりミルク フラワーデザインボトル」	¥900
遊具・乗り物	「Peopleじてんしゃ」12インチ (スピネルド)、 14インチ (アカマリソ、トパーズオレンジ、リミテッドミントグリーン、プレミアムアブルー)	各オープン価格
その他	おでかけごきげん+シリーズ「ぐずりに効くよだれカバー~タグいっぱい太陽付~」	¥1,800
	同シリーズ「ぐずりに効くよだれカバー~星の歯がため付~」	¥1,800
	同シリーズ「ぐずりに効くよだれカバー~カシャカシャ音のしずく付~」	¥1,800